

バグダッド日誌（12月16日）

○ LO秘密会議に出席？！

- ・ モンゴルLO(大佐)が私の所にコソソリ近寄ってきた。「今日の夕方日本コンテナにお前を迎えに行く。いいか？」何やら怪しい雰囲気が出て「どうしたの？何かあったの？」と聞いても、「それは後から言う。夕方時間はあるか？」「いいけど……」、「よし、1845にお前の所に行くから、待っててくれ」
- ・ 約束の時間に大佐が来て、大佐のコンテナに連れて行かれる。ベッドと机の他は何もないコンテナに独りで住んでる。日本のコンテナが如何にすばらしいかこれを見ると分かる。「月に2〜3回、ここがブルガリアか、ポーランドLOのコンテナに集まって、トランプやってるんだ。近々ブルガリアも帰国するから、今日はお前を呼んだ。帰る前にお前と一度ゆっくり話してみたいと言ってた。」という。(40過ぎたおっさんが集まってトランプもないだろ……「魔法の水」でも出てくるのかな?)と期待しつつ、しばらくモンゴル大佐の部屋で雑談した。
- ・ ブルガリアLOのコンテナに行った。彼のコンテナもまた、ベッドの他はテレビどころか机すらない。衣装ケースをテーブルにして、いくらかのスナック菓子とソフトドリンクが準備されていた。(マジでジュースとトランプ?)と思いつつ、うれしそうに迎えてくれたブルガリアLOにお礼を言う。「時々夜こうして集まって、話してるんだ。お前もずっと話したかったが、今日になってしまった。帰る前にお前とゆっくり話したかった。」とうれしくなるようなことを言う。しばらくして、ポーランドLOも来て4人がそろった。
- ・ イラクの現状認識、民主化の行方等についてそれぞれが勝手なことを話そうと、本当にトランプが始まった。モンゴルポーカ、ブルガリアとポーランドのゲームを説明してくれるが、ルールがよく分からない。「日本のゲームを教えろ。」と言われ、「オイチョ・カブ」を説明し、何度かやってみた。「日本人のトランプは難しい。」との感想だった。
- ・ 結局「魔法の水」はなく、40過ぎのおっさん4人(3人がスキンヘッド)が、コーラ片手にトランプした(賭けなし)。なんとも面白い光景だった。トランプしながらも、イラク情勢、自国の歴史、日中韓の問題等々4人が自分の意見をそれぞれ話し、最後はモンゴル大佐が話をまとめる。そんな繰り返してあっという間に時間が過ぎた。まじめな話したが、最後は「下ネタ」になった。私が「この手の話は世界共通だな」というと、ブルガリアが「当たり前だろ。世界中のどの国にも、男と女しか住んでないんだから、この手の話をしない奴はいないよ。」
- ・ 結局、4時間ほど「LO秘密会議」は続いた。彼の他には同胞も居らず、テレビも机もない部屋でブルガリアLOは、休日も休日もなく約1年ここで勤務した。時々近所のコンテナに住むLOが集まってトランプすることが彼の一番の楽しみだったと思うと少しかわいそうなおもする。
- ・ 3人が「いつか日本に行きたいが、日本語は難しいからお前が案内してくれ。」という。「旅費は自分で出すならいいよ。」と言ったらとてもウケた。ほんとにいつか彼らが日本に来てくれたらきっと楽しいだろうと思う。これも、バグダッド勤務ならではの経験かと思う。オッサン4人の楽しいが少し寂しい「LO秘密会議」だった。